学校番号	416

令和８年度　芸術科

教科	専門教科 音楽	科目	器楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

初めてピアノを弾くことを念頭に基礎から学び、主に独奏に取り組む。
基本的な奏法や表現方法は個人に対して個別・直接指導を通じて行う。上達の速度や集中力は個人差があるので、状況を観察しながら指導する。
練習にあたって、仲間とお互いに教え合うことで技術や表現力の向上が求められる。

2　学習の到達目標

ピアノの学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽に関する資質・能力を身につける。旋律の流れや和音の構造を理解し、楽器を通して表現できるとともに、生涯にわたって音楽を愛好する精神を養う。
【知識及び技能】
楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確に持つことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽表現をするために必要な技能（奏法・姿勢や身体の使い方・読譜の仕方）を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	弾いてみよう	片手ずつ5本の指だけで演奏できる曲を練習する。 ・ちょうちょう ・ぶんぶんぶん ・メリーさんのひつじ 指くぐり、指ごえの練習 左手の和音の練習	a:指番号を理解し、正しい運指で弾けている。 b:音の高低とリズムを考えながら旋律が弾ける。 c:繰り返し練習し、習得しようとしている。	実技テスト	演奏の聴取	観察
2学期	表現してみよう	ジャンルは問わず、好きな曲を演奏する。	a: 楽曲で利用する音、音階を理解している。無理のない運指で演奏できている。 b:両手のタイミングを合わせながら、フレーズや強弱を意識している。 c:できないところは取り出して、繰り返し練習している。	実技テスト	演奏の聴取	観察
3学期	合わせよう	・オペラ座の怪人をメロディ・コード・ベースの3パートに分かれて演奏する。	a:自分が担当するパートで使う音を理解し、一定の速度で演奏できる。 b:お互いのパートを聴きながら合わせることができ、合わない部分の原因を考えられる。 c:練習回数を積んで息が合っている。	実技テスト	演奏の聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度